

5/1~5/6
Wed Mon

第36回

Sand Art Wedding

5月4日(土)、1組の夫婦が来場者に見守られながら「砂浜ウエディング」を挙げられました。今回挙式されたのは、松廣屋京さん・恵菜さんご夫婦。

式では、指輪交換や結婚証明書の授与などがあり、松本敏郎町長からは、「厳しい壁や困難も待ち受けていることかと思うが、手を取り合い、助け合い、共に歩んでいってください」と祝辞がありました。

また、松廣屋夫妻は、「笑顔が絶えない家庭にしたい」と話しました。おめでとうございます。



大阪経済大学包括協定締結式

5月2日(木)、町は大阪経済大学と「連携協力に関する協定書」の締結式をTシャツアート展会場で実施し、協定を締結しました。

同協定は、同大学と町がさまざまな分野に関する包括的かつ継続的な連携を推進することにより、地域の課題解決および活性化、人材育成を図ることなどを目的とするもの。同大学の山本俊一郎学長は、「青空の下での調印は一生の思い出になった。

黒潮町をキャンパスに、いろいろな面でつながれたら」と話しました。



ビーチサンダル飛ばし大会

5月5日(日)、ビーチサンダルを飛ばし、その飛距離を競う「ビーチサンダル飛ばし大会」が開催されました。子どもの部、女性の部、男性の部にわかれ、計45名が参加し、ビーチサンダル何足分を飛ばせるかを競いました。飛距離が一番長かった小森夕子さんには、総合優勝のメダルが贈られました。小森さんは、「会社の人に「優勝して来て」と言われたが、本当に優勝できて嬉しい。自慢したいと思う」と話しました。



青空授業

5月1日(水)・2日(木)、「青空授業」が町内各小学校4年生を対象に行われ、3年生時に授業で作成し応募していたTシャツを見るため、子どもたちが会場を訪れました。この授業は、前年に砂浜美術館を授業で学び、今回Tシャツを見つけに来ることで、砂浜美術館をより身近に感じてもらうことを目的に行われています。

子どもたちは、「Tシャツが手元に帰ってきたら自分の部屋に飾りたい」、「人それぞれ個性があって良いなと思った」などと話しました。



Tシャツアート展

T-SHIRT
ART
EXHIBITION
2024

「第36回Tシャツアート展」が5月1日(水)から6日(月)までの6日間、砂浜美術館(入野の浜)で開催され、期間中には27,573名が来場しました。

今回のTシャツの応募総数は854点で、町内から257点、そのほか国内564点、セネガル、台湾からも33点の作品が集まりました。審査員には、建築家の團紀彦さんを迎え、今年の入賞作品を選びました。

南国市から来場した親子は、「はだしマラソンの後に毎年来ている。個性豊かなTシャツがあって楽しい。Tシャツが揺れているところがきれいで良かった」と話しました。

